

CASBEE® - 建築(新築) | 評価結果 |

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v2.1)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	西鉄祇園ホテル(仮称)建設工事	階数	地上13F
建設地	福岡県福岡市博多区祇園町417、4	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域、準防火地域、	平均居住人員	600 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	ホテル、工場、	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定	評価の実施日	2021年8月17日
敷地面積	1,596 m ²	作成者	寺川幸子
建築面積	928 m ²	確認日	2021年8月17日
延床面積	7,985 m ²	確認者	定森淳一



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★★★★★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

30%: ☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆ 100%超: ☆☆☆☆

① 参照値: 184 (kg-CO₂/年・m²)

② 建築物の取組み: 46 (kg-CO₂/年・m²)

③ 上記+②以外の: 92 (kg-CO₂/年・m²)

④ 上記+: 138 (kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 3.2

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 3.3

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア= 3.0

LR のスコア = 3.6

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.8

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.6

LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.2

3 設計上の配慮事項		
<p>総合</p> <p>室内環境やサービス性能に配慮し、環境品質の向上に努めた。機能的な空間づくり、敷地内外環境、省エネルギーへの配慮に取り組んでおり、低炭素社会の実現に努めている。</p>	<p>その他</p>	
<p>Q1 室内環境</p> <p>共用部・宿泊部共に高い昼光率を確保し、光・視環境へ配慮した計画。使用建材全てにF☆☆☆☆製品を使用し、かつ高い換気能力により室内空気質環境へ配慮している。</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>客室の天井高さを十分に確保し、広さ感に配慮している。内装計画段階でコメントを反映させるための取組やパスによる事前検証を実施し、利用者の心理性・快適性に配慮した。</p>	<p>Q3 室外環境(敷地内)</p> <p>中高木・低木・地被植物等により敷地内緑化に努め、建物利用者が自然に親しめる空間を計画。また、来街者も利用可能な賑わいスペースを提供し、地域活動のアメニティ向上に努めた。景観を損なわないよう外観に配慮し</p>
<p>LR1 エネルギー</p> <p>断熱性の高い材の採用と高効率設備の導入により、環境負荷低減に配慮した。</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>節水型器具の利用に加え、再生水を利用し水資源保護に努めている。躯体材料以外にリサイクル材を採用し、非再生性資源の使用量削減配慮。</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>駐車駐輪施設の計画に加え、敷地周辺への交通負荷抑制に努めた。光害対策に十分に配慮した計画。</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される